

東芝テック(株)は、「グローバル・ワンストップ・ソリューション企業」を目指すことを中長期ビジョンに掲げ、差異化技術や、商品、サービス及びソリューションを創出するため、社内及び東芝グループの持つユニークな技術や商品との連携強化を図り、マーケットのニーズに応える新商品の開発、投入に向けた取組みを加速しております。

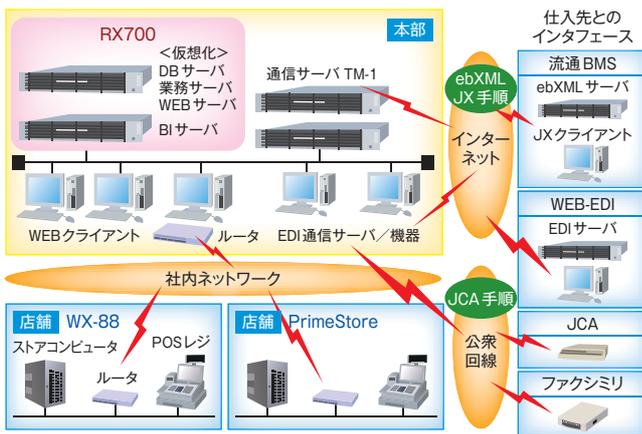
リテールソリューション事業分野では、POS(販売時点情報管理)販売台数で世界シェアNo.1^(注)企業として、生産者から消費者までの統合的なソリューション提供に取り組んでいます。またプリンティング事業分野では、コアビジネスの強化と差異化、及び新規ビジネスの拡大を目指し取り組んでいます。更にオートID(Identification)事業分野では、センシング技術とRFID(無線ICタグ)による差異化ソリューションのサプライチェーンへの展開に取り組む、インクジェット事業分野では、少ロット・多品種生産が加速する産業用印刷向けソリューションへの展開に取り組んでいます。

2015年は、Web技術を導入し複数サーバと連携可能な量販店向けの本部システムや、簡単に安心して使える機能を搭載した自動釣銭機、中国市場を見据えた超小型・軽量A3モノクロMFP(Multifunctional Peripherals)、軽量かつコンパクトで持ち運びに最適なポータブルラベルプリンタ、各種装飾の意匠性を向上させることができる超大液滴を吐出可能なインクジェットヘッドなどを開発し商品化しました。

(注) 2015年6月現在、当社調べ。

取締役 専務執行役員 商品・技術戦略企画部長 市原 一征

● 量販店向け 本部システム RX-700



量販店向けの次期本部システムとしてRX-700を開発した。RX-700では、Microsoft^(注) Silverlight^(注)を採用してユーザー向け全アプリケーションをRIA(Rich Internet Applications)で構築し、操作性を損なうことなくWeb化を実現した。更に仮想化技術を利用し、Webサーバを中心に複数のサーバを柔軟に組み合わせることが可能であり、BI(Business Intelligence)サーバと連携させることでグラフ化やドリルダウンなどによる多彩な単品分析も可能である。これらの機能により、店舗向けPOSコントロールから仕入先向けEDI(Electronic Data Interchange)及び分析処理までを行うことができる。

DB: データベース ebXML: Electronic Business Extensible Markup Language
BMS: Business Message Standards JCA: 日本チェーンストア協会
*ebXML, JX手続, 及びJCA手続は、EDIで使用される通信プロトコル

RX-700のシステム構成

Configuration of RX-700 host system for retail stores

● 超小型・軽量A3モノクロMFP e-STUDIO 2809Aを含む8機種



開発したA3モノクロe-STUDIOシリーズ8機種

Eight models of A-3 size black-and-white multifunctional peripherals (MFPs) added to e-STUDIO lineup

従来のA3モノクロ複合機に対して、機能と性能を向上させた超小型・軽量A3モノクロMFP e-STUDIO 2809Aを含む8機種を開発した。

製品ラインアップに、プリント速度28枚/minの機種を新たに追加した。カラスキャンは従来機種比で2倍の読取り速度24spm(スキャン/min)(200dpi(ドット/in))を実現した他、ウォーミングアップタイム6.4s、ファーストコピータイム18sと従来機種比で10%の性能改善も図った。中国市場を見据えて厚紙にも対応しており、更に新たなモバイル連携機能として、タブレットやスマートフォンからのプリントやスキャンを可能にした。

● 軽量かつコンパクトなポータブルラベルプリンタ B-LP2D-GS30-R

物流や、製造、ルートセールスなど、バーコードの印字が必要な業種で、長時間持ち運んでも作業者にストレスを感じさせない、軽量かつコンパクトなポータブルラベルプリンタ B-LP2D-GS30-Rを開発した。

主な特徴は、次のとおりである。

- (1) OS (基本ソフトウェア) にiOSを搭載した端末のビジネスユース拡大に対応し、Apple社の“MFiプログラム”の認証を取得
- (2) 物流業などでの過酷な利用にも耐えられるように衝撃吸収素材を採用
- (3) 当社従来機種比で動作電力を12%、待機電力を37%削減
- (4) プリンタ単体でも簡単に動作状況を確認できる、2色の有機EL (OLED: Organic Light-Emitting Diode) ディスプレイ採用により使い勝手を向上



B-LP2D-GS30-R
B-LP2D-GS30-R portable label printer

● 自動釣銭機 VT-330

労働人口減少などの市場環境変化やセルフレジの普及により、自動釣銭機を使う人が“キャッシャー(プロ)”から“アルバイトや消費者(アマチュア)”に変わってきている。機械操作に不慣れなアルバイトや消費者でも、簡単に安心して使える機能を搭載した自動釣銭機 VT-330を開発した。主な特長は、次のとおりである。

- (1) 紙幣引込み機能と間口が大きい硬貨投入口 誰でも簡単にいねいな金銭授受が可能
- (2) 業界初^(注)のキーレス機能 ユーザーによる鍵管理が不要となり、アルバイトが多い小売業でも安心な現金管理を実現
- (3) 小型・大容量化 従来機VT-200と同サイズで千円札300枚を収納でき、紙幣の補充回数を削減

(注) 2016年1月時点、自動釣銭機において、当社調べ。

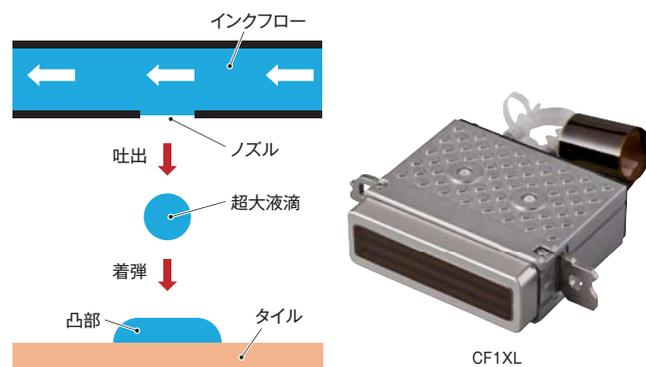


自動釣銭機 VT-330
VT-330 automatic coin and banknote recycler

● 超大液滴インク循環型インクジェットヘッド CF1XL

タイル装飾など各種装飾印刷では、絵柄印刷に加え、多量のインクを使ってメタリック印刷したり凸部などを形成したりすることで、意匠性を高めることが求められている。そこで、インク塗布量に見合った超大液滴を吐出可能なインク循環型インクジェットヘッドCF1XLを開発した。

CF1XLは、当社の既存ヘッドCF1L比で2倍となる液滴量180p(ピコ: 10^{-12})Lを同じ電力範囲で実現しており、顧客の利便性を高めている。これにより、各種装飾の意匠性を向上させることが可能になり、インクジェットヘッドの適用範囲拡大が期待できる。



CF1XLの印刷原理
Printing mechanism of CF1XL inkjet head